

# アパレル素材の実践知識

## BASIC KNOWLEDGE OF TEXTILE

消費がますます成熟する中で、商品への選択眼がますます厳しさを増すファッションマーケット。目の肥えた消費者は、「価格」と「商品の持つ価値」のバランスをことさら重視しています。アパレルをはじめファッション関連品を企画する上で、素材の持つ重要性が再びクローズアップされています。商品の価格（コスト）や価値を大きく左右する原料と糸使い、服作り（シルエット）のポイントを握る組織、そして、商品の付加価値やデザイン性を高める加工など今も昔も素材は、ものづくりのエンジンです。言い換えれば、素材を知ることが、良いものづくりにつながっていくと言っても過言ではありません。ファッション業界で働くものにとって素材に関する知識は、商品企画のみならずコスト面でもますます重要になっています。そこで弊社では、商社、ファッション・テキスタイル業界の若手（新入）社員の方、初めてブランドを任されたデザイナー&MD、営業の方々、小売業で販売に携わるの方々に向けてアパレル素材（原料・糸・組織・加工、染色、仕上げ、意匠、プリント）の基礎からモノづくりの実践まで、**動画（紡績、織物、捺染など）と実際の生地、詳細なテキスト及び自らの体験を基に経験豊富な素材のプロがよりわかりやすく解説する講座を開催致します。**さらに、毎回リクエストを多く頂戴する糸番手やコスト面をより詳しく取り上げます。

日 時：東 京／2015年12月1日(火) 10:00～17:00 / 2日(水) 9:30～16:30  
 大 阪／2015年12月8日(火) 10:00～17:00 / 9日(水) 9:30～16:30  
 会 場：東 京／長井記念館（渋谷区渋谷2-12-15）  
 大 阪／大織健保会館（大阪府中央区瓦町2-6-9）

講 師：竹内 忠男（テキスタイルコーディネーター／文化ファッション大学院大学教授）

- 受講料：2日間1名 **27,000**円(資料・プリント見本・生地見本100点・消費税込)  
 ※一社で5名以上参加の場合10%割引します。最少実施人数(30名)に達しない場合は開催を延期する場合があります。
- 主催：株式会社ファッションリソースセンター・ファッション情報課
- お申込み：下記の受講申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、受講票と会場案内図をご予約方法 お送りさせていただきますので、当日会場の受付へご提出下さい。定員になり次第受付を終了致します。
- お支払い：お手数ですが、請求書到着後1週間以内に下記口座へお振込み下さい。（振込手数料はご負担願います）  
 方 法 一度お振込頂いた受講料は、ご返金致しかねますのでご了承下さい。  
 三井住友銀行学園前支店（普）3756739（株）ファッションリソースセンター  
 三菱東京UFJ銀行 近鉄学園前支店（普）0071856（株）ファッションリソースセンター
- お問い合わせ  
 お 申 込 先 **TEL0742(51)3747 FAX 0742(51)2339**  
<http://www.trend-seminar.com>（こちらからも、お申し込みいただけます）

-----（キリトリ線）-----

| 実践知識（アパレル） |         | 受講申込書       |        |
|------------|---------|-------------|--------|
| 会社名        | 業種      | 請求書(要・不要)   |        |
| 住所〒        | ☎ ( )   | FAX ( )     |        |
| 会 場        | 受 講 者 名 | 部 署 ・ 役 職 名 | e-mail |
| 東京・大阪      |         |             |        |
| 東京・大阪      |         |             |        |
| 東京・大阪      |         |             |        |
| 東京・大阪      |         |             |        |
| 東京・大阪      |         |             |        |

本お申込みで取得致しました個人情報につきましては、当社は適正に管理し、今後、当社が主催する各セミナーのご案内をさせて頂くことのみを目的として利用させていただきます。尚、ご案内が不要な場合は、当社までFAXにてご連絡をお願い致します。

# 講座カリキュラム

## ◎ 1日目 10:00～17:00 / 繊維原材料特性から糸種について

|             | 時 間        | テ ー マ | 内 容   |
|-------------|------------|-------|---|
| 1<br>日<br>目 | 10:00<br>) | 原 料   | 『繊維原料種類とその特性』<br>天然繊維・再生繊維・半合成繊維・合成繊維・環境配慮型繊維<br>吸湿性（公定水分率）・吸水性・伸縮性・重さ・繊維強度等<br>製品素材表示（家庭用品品質表示法による）・業界略式表示   |
|             |            |       | 『糸の種類』<br>短繊維・長繊維・単糸・双糸・レギュラーヤーン・ファンシーヤーン等  |
|             | 17:00      | 糸     | 『糸の撚り方向と特性』<br>撚糸・糸種による撚り方向の相違と撚り糸特性、甘撚糸・強撚糸等<br>『糸の太さ表示』<br>恒重式紡績糸番手表示（綿、麻、毛）、恒長式長繊維デニール表示等<br>共通番手によるテックス表示、これらの相互換算方法<br>『糸種による中心番手』<br>細番手・中番手・太番手、マイクロファイバー等 |
| 休 憩         |            |       |   |

## ◎ 2日目 9:30～16:30 / 生地組織・染色加工仕上げ・意匠について

|             | 時 間       | テ ー マ             | 内 容  |
|-------------|-----------|-------------------|--|
| 2<br>日<br>目 | 9:30<br>) | 組 織               | 『織、編物の基本組織』<br>三原組織と変化組織（ドビー、ジャカード等）、多重織物、添毛織物、<br>特殊織物<br>緯編、経編の基本組織とその変化組織 |
|             |           |                   | 『代表的生地名称』<br>原料から、糸から、産地から、仕上げから来た組織名称                                       |
|             | 16:30     | 染 色<br>整 理<br>仕 上 | 『生地規格・物性検査』<br>糸使い、糸密度、ゲージ数、目付け、仕上がり幅、染色堅牢度、生地強度等                            |
|             |           |                   | 『国・内外の産地の特徴』<br>国内：尾州、浜松、北陸、岡山等 海外：リヨン、ピエラ、コモ等                               |
| 休 憩         |           |                   |  |
|             |           | 意 匠               | 『生地企画生産』<br>産地による生産数量およびその生産期間   |
|             |           |                   | 『染色の種類』<br>染色加工工程、糸染め、無地染め、製品染め等、染料とテキスタイルの関係                                |
|             |           |                   | 『染色機械』<br>ジガー、ウインス、液流、連続染色機とテキスタイルの適合性等                                      |
|             |           |                   | 『仕上げ、整理加工の種類』<br>基本的物性の安定、ファッション的な視点（視覚効果、触覚効果）から                            |
|             |           |                   | 『特殊加工』<br>コーティング、フロッキー、オパール、エンボス等  |
|             |           |                   | 『テキスタイルから製品工程において発生し易い問題点とその対処法』<br>見本生地と本加工品の相違（糸、仕上げ）、染色不良の原因等             |
|             |           |                   | 『プリント加工の種類』 凹版・凸版・孔版・平版・無製版<br>マシンP、スクリーンP、ロータリーP、転写P、インクジェットP等              |
|             |           |                   | 『加工柄表現の方法』<br>オーバーP、防染P、抜染P  |
|             |           |                   | 『プリント加工において発生する問題点』<br>デザイン作成からの問題点、柄レピート、柄歪み、プリントムラ等                        |